

授業科目名： 北東アジア研究特論（中国1）			担当教員名： 李春霞
--------------------------	--	--	---------------

選択/必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 前期	開講言語： 日本語
--------------	-----------	--------------	--------------

#### ディプロマポリシーとの関連

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●	●	

#### ○授業の到達目標及びテーマ

本授業は、現代中国の経済発展の軌跡、経済の諸課題に関する理解を深めることを目的とする。さらに、中国を対象地域とした徹底的な社会科学的分析を行う際に必要な高度の研究能力を身につけることを目的とする。授業終了時に、受講生は中国経済が直面している主な課題の発生原因、現状および特徴について把握し、各自の興味関心に基づいた研究テーマを考案して、政策分析を行うことが期待される。なお、本授業は学生が中国に関する基礎知識があることを想定している。

#### ○授業の概要

1978年の改革開放以降、中国は高度成長を果たし、GDP総額では世界第2位の経済大国になった。本授業は、現代中国の経済発展の軌跡、計画経済から社会主義市場経済への転換、および中国経済の諸課題を解説し、企業改革、財政改革、直接投資と対外貿易など様々な側面から中国の改革開放以降における高度成長のメカニズムを理論と実証に即して講義する。

#### ○授業の方法

受講生は、授業計画に示されている基本文献をあらかじめ読んで上で授業に参加すること。毎回、授業の進行状況に応じて適宜プレゼンテーション、ディスカッションやグループワークを実施する。受講生は自主的に研究を行い、積極的に発言することが求められる。

#### ○授業計画

第1回 授業ガイダンス、参考資料などを説明すると共に、本授業で取り扱う諸課題を紹介して、受講生の問題意識を喚起する。

#### 第2回 農業・農村・農民（三農）問題

中国農業の構造転換、農業問題と三農政策の変遷

#### 第3回 企業体制改革とその行方

国有企業体制の創出、非国有企業の生成、国有企業改革

#### 第4回 地域発展戦略と産業・人口の集積

地域発展戦略の変遷、産業の集積、人の集積

#### 第5回 財政制度改革と中央－地方関係

財政システムと中央－地方関係、市場移行と財政制度改革、分税制

第6回 金融システム

金融改革、マクロ政策手段の変化

第7回 貧困、失業および所得格差

貧困問題、失業問題、所得格差

第8回 人口と社会保障

人口爆発から少子高齢化へ、社会保障制度の転換

第9回 エネルギー問題

高度成長によるエネルギー需要の急増、市場経済化のエネルギー安定供給への貢献、エネルギー政策の展開

第10回 経済発展と多様化する環境問題

環境問題と環境政策の変遷、大気と水の汚染、地球温暖化問題への対応

第11回 対外貿易と直接投資

閉鎖経済から開放経済へ、輸出志向工業化の展開、直接投資＝貿易連鎖の進展、外需主導型成長から内需主導型成長へ

第12回 香港・台湾の経済と中国との関係

中港経済関係の変化、中国の経済大国化と台湾の対中経済関係の変容

第13回 中国の近隣諸国との経済関係

「一帯一路」と AIIB

第14回 中国・アメリカの経済関係の変容

WTO 加盟、米中貿易摩擦

第15回 まとめ

中国経済の行方

※授業の内容を一部調整・前後する場合がある。

○テキスト(Textbook)

梶谷懐/藤井大輔 編著『現代中国経済論』 [第2版]、ミネルヴァ書房、2018年

**○参考書・参考資料等 (Reference materials)**

大橋英夫『現代中国経済論』岩波書店、2005年

大橋英夫『シリーズ現代中国経済 5 経済の国際化』名古屋大学出版会、2003年

大橋英夫『米中経済摩擦』勁草書房、2008年

大橋英夫『チャイナ・ショックの経済学』勁草書房、2020年

加藤弘之・渡邊真理子・大橋英夫『21世紀の中国 経済篇 国家資本主義の光と影』朝日新聞出版、2013年

丸川知雄『現代中国経済論（新版）』（有斐閣）、2021年

その他適宜授業の中で提示する。

**○学生に対する評価 (Assessment)**

1) クラス討論への貢献（参加度）：30%

2) 口頭発表及びレジュメ：30%

3) レポート：40%

**○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態**

授業形態：オンライン授業